

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		市内企業満足度向上対策事業		担当課	商工振興課	担当係	商工振興係	管理番号	3729	
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	雇用とにぎわいを生み出すまちづくり		根拠法令 個別計画等					
	小項目	1	商工業の振興							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		企業訪問等を通して企業の意見を集約し、行政運営に活かす。また、市内企業間の連携を強化する企業交流会等の取り組みや、企業が多くの市民に知られてもらえるようにする事業を行う。								
目的 ※何のために		企業に深谷市を重要な事業地として認識していただくため。								
対象 ※誰・何を対象に		市内企業								
手段 ※どのように		企業交流会の実施、工場見学の実施、研究会の実施								
成果 ※何を求めるか		企業が活動するために有効な情報を収集することができる。市が企業の活動しやすい環境づくりを行うことができる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	7	商工費	1	商工費	2	商工業振興費	企業満足度向上事業	
本事業の 主な業務		・企業訪問							・	
		・企業交流会等の実施							・	
		・工場見学の相談受付							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		・深谷ものづくり博覧会の開催・企業交流会・市内企業訪問	・深谷ものづくり博覧会の開催・企業交流会・市内企業訪問	・深谷ものづくり博覧会の開催・企業交流会・市内企業訪問	・企業交流会・市内企業訪問	・企業交流会・市内企業訪問	・企業交流会・市内企業訪問
事業費	予算(現額)	4,750,000	4,720,000	4,173,000	155,000	100,000	100,000
	決算額	3,416,154	3,362,025	3,061,918	11,220	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	200,000	27,000	39,000	0	0
		一般財源	3,216,154	3,335,025	3,022,918	11,220	100,000
人件費	従事職員数(人)	0.73	0.73	0.67	0.66	0.72	0.72
	人件費相当試算※	5,678,670	5,680,860	5,266,870	5,369,760	5,588,579	5,854,571
総事業費試算		9,094,824	9,042,885	8,328,788	5,380,980	5,588,579	5,954,571

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値	実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	企業との情報交換会の実施回数	目標値	回	2	2	2	2	2	2
		実績値		2	2	2	0	0	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		半期に一度情報交換会を実施する。 / 当該年度末実績						
	実績値の算出式								
成果指標 1	企業交流会への参加企業数	目標値	社	50	50	50	50	50	50
		実績値		57	58	47	0	0	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		取り組み参加企業の半数以上の企業の参加を目指す。 / 当該年度末実績						
	実績値の算出式								
成果指標 2	企業交流会の企業満足度	目標値	%	88	88	88	88	88	88
		実績値		100	67.85	90.48	0	0	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		H 2 6 年度から設定						
	実績値の算出式								
成果指標 3	深谷ものづくり博覧会来場者数	目標値	人	4500	4500	4500	4500	4500	4500
		実績値		5000	4500	4500	0	0	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所		令和元年度で終了						
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	C	新型コロナウイルス感染症の影響により、企業交流会等が開催できなかった。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	C	新型コロナウイルス感染症の影響により、企業交流会等が開催できなかった。なお、「深谷ものづくり博覧会」については、令和元年度を最後に終了した。
			評価者 商工振興係長 福島 敬

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	新型コロナウイルス感染症の影響でここ数年交流会を実施できていない。交流会という形式にとらわれずに、市内企業の意見や状況の把握する取り組みが求められる。
			評価者 商工振興係長 福島 敬

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し職員による企業訪問により、市内企業の意見や状況の把握に努める。
達成状況及び その効果	職員による企業訪問を実施し、市内企業18社の意見や状況把握を行った。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	市内企業満足度向上対策事業	担当課	商工振興課	担当係	商工振興係	管理番号	3729
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>新型コロナウイルス感染症の影響により、企業交流会を開催することはできなかったが、職員による企業訪問を実施して市内企業の意見聴取や状況把握することができた。引き続き、感染状況を注視しながら事業を実施していきたい。</div>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		評価者	商工振興課長 岩田 展雄				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、交流会という形式にとらわれずに、職員による個別の企業訪問など柔軟に対応し、市内企業の意見や状況の把握に努める。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

